



# ななかまど

江別市立江別第一小学校  
令和6年度学校だより  
令和6年10月8日発行  
第9号



夢をいだき 未来をひらく 江別第一小の子ども

○思いやりをもち 助け合う子(情) ○すすんで学び よく考える子(知)  
○ねばり強く やりぬく子(意) ○心もからだも たくましい子(体)

URL <https://www2.ebetsu-city.ed.jp/daiiti-es/> 発行責任者 校長 庄 隆晃

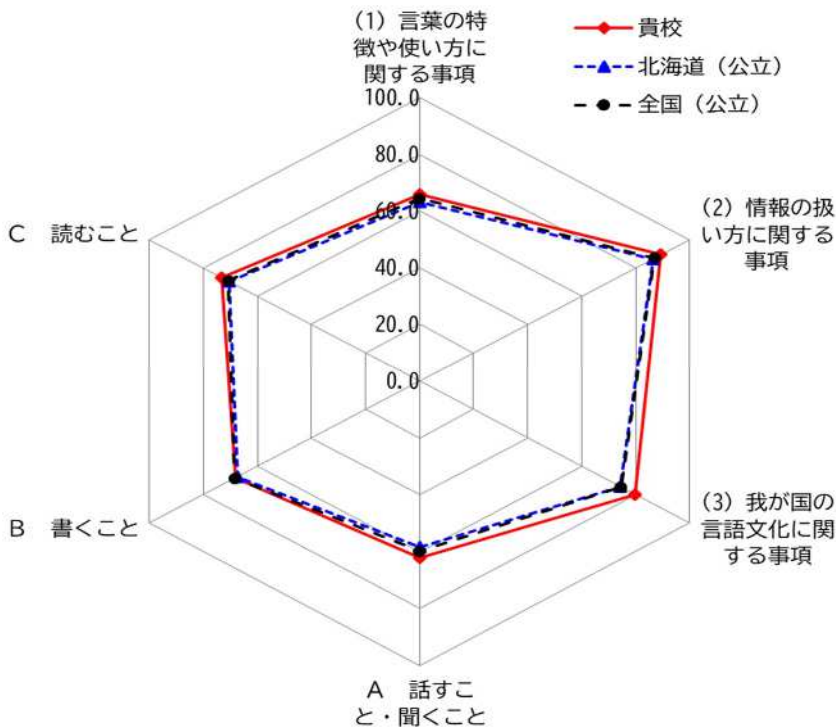
## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果の概要と今後の取組について

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきまして感謝申し上げます。

さて、6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が4月18日(木)に実施されました。この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証して今後の学習指導の充実や改善等に役立てることを目的としております。以下に本校の児童の傾向と概要を示します。

なお、今回の調査結果は、学力全体を特定するものではなく、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

**国語** 「国語」全体としての結果 「全道平均を上回りました」「全国平均は、やや上回りました」



### 【よくできた問題】

①人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。

→ とても良くできていました。第一小学校の児童は、「書く」ことに苦手な傾向があったため、校内の教員研修のテーマにして「書く活動の充実」に取り組んできました。

今後も、決められた文字数で自分の考えを書いたり、話をまとめたりする活動を充実させていきます。

### 【あまりできなかった問題】

①人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる。

→ 「表現の効果」など、自分がよく知っている項目を選択してしまったようです。物語文の感想を書く際には、登場人物の人物像を明確にしたり、その根拠となる描写を明らかにしたりしながら書くなど、人物像を読み取ることができるように指導していきます。

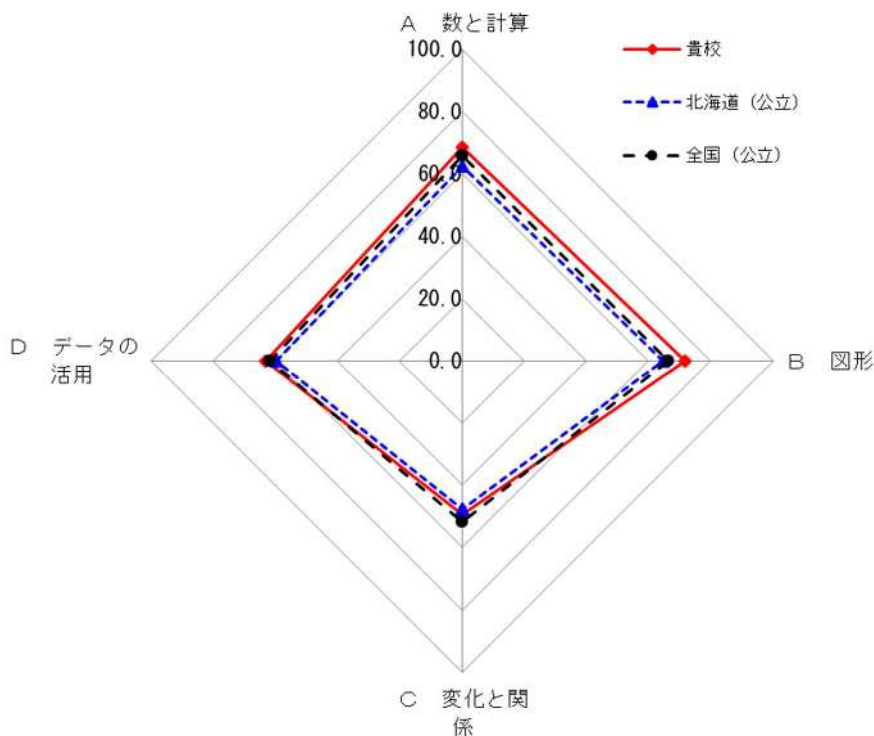
②学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

→ 普段から「習った漢字は必ず使う」習慣付けを行っていきます。また、宿題で前年度に学習した漢字を学習する、デジタルドリル『スマイルネクスト』で学習した漢字を復習する機会を設定していきます。

## 算数

「算数」全体としての結果

「全道平均を上回りました」「全国平均は、やや上回りました」



### 【よくできた問題】

①直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる。

→ 直方体についての基本的な問題でした。立体の図形を平面の見取図にかくには、方眼のマスの数に着目することが重要になりますが、よくできていました。今後も、様々な図形の特徴について調べたり考えたりする学習活動を充実させていきます。

### 【あまりできなかった問題】

①道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

→ 2人の道のりが等しいことは書けていましたが、かかった時間で考えず、「直線だから速い。」と書いた

児童がいました。速さの学習を復習する際に、「道のりが同じであれば、時間が短い方が速い。」など、速さの数値のもつ意味について、確認していきます。

②折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

→ グラフを読み取り、回数の違いが最も大きい年代については、書けていましたが、違いを書きえていなかったり、間違えて計算していたりしていました。1つの問題の中で、2つのことを答える問題が苦手な傾向があります。様々な機会を出題していきます。

## 児童質問紙

### <肯定的な回答の割合が高かった項目>

①いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか？ 100%

②人の役に立つ人間になりたいと思いますか？ 100%

→ いじめについては、どんな理由があってもいけないことだという考えをもつことができます。今後も、いじめ根絶に向けて『いじめゼロ集会』を実施するなどして、未然防止、早期発見、早期対応に努めていきます。

→ 6年生は、1年生のお世話や委員会活動などに一生懸命に取り組んでいます。最高学年として様々な場面でリーダーシップを発揮することにより、人の役に立つ喜びを実感し、自己の成長につながっています。

### <肯定的な回答の割合が低かった質問>

①新聞を読んでいますか？ 10.8%

②算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか？ 63.5%

→ 「新聞を読んでいる」と回答している児童の割合は、情報メディアの多様化や新聞購読数の減少などから、全国的に年々減少傾向にあるようです。

→ 「算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか？」「算数の勉強は好きですか？」の質問項目については、全国平均を上回る結果になりましたが、全教職員で取り組むべき課題と考え、全教職員で算数の「興味・関心を高める問題の提示方法」や「様々な方法で問題を解き、対話によって学びを深める指導方法」を重点に授業研究を行っています。今後も算数に関する興味・関心を高め、物事を多面的に捉え考える力を育成していきます。